

# 第94回 簿記実務検定第2級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	当座預金	受取手形	不渡手形
未収金	仮払法人税等	備品	備品減価償却累計額	
買掛金	未払法人税等	社債	資本金	
資本準備金	利益準備金	繰越利益剰余金	売上	
固定資産売却益	仕入	広告料	創立費	
株式交付費	社債発行費	固定資産売却損	佐世保支店	
島原支店	本店	損益		

- a. 佐賀商店は、北東商店から商品の売上代金として裏書譲渡されていた西南商店振り出しの約束手形  $\yen 600,000$  が不渡りとなったので、北東商店に償還請求をした。なお、このために要した諸費用  $\yen 3,000$  は現金で支払った。
- b. 長崎商店の佐世保支店は、島原支店が発送した商品  $\yen 390,000$  (原価) を受け取った。ただし、本店集中計算制度を採用している。(佐世保支店の仕訳)
- c. 熊本物産株式会社は、企業規模拡大のため、あらたに株式200株を/株につき払込金額  $\yen 90,000$  で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、/株の払込金額のうち  $\yen 30,000$  は資本金に計上しないこととした。なお、株式の発行に要した諸費用  $\yen 480,000$  は小切手を振り出して支払った。
- d. 宮崎商事株式会社は、決算の結果、当期純利益  $\yen 1,720,000$  を計上した。
- e. 中部産業株式会社は、次の条件で社債を発行していたが、満期となったので、小切手を振り出して全額を償還した。
- 発行条件    額面総額  $\yen 50,000,000$     払込金額 額面  $\yen 100$  につき  $\yen 100$
- f. 福岡商事株式会社(決算年/回)は、中間申告をおこない、前年度の法人税・住民税及び事業税の合計額  $\yen 980,000$  の2分の1を小切手を振り出して納付した。
- g. 鹿児島物産株式会社は、期首に取得原価  $\yen 350,000$  の事務用パーソナルコンピュータを  $\yen 80,000$  で売却し、代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。なお、売却時におけるパーソナルコンピュータの帳簿価額は  $\yen 87,500$  であり、これまでの減価償却高は間接法で記帳している。

**2** 長野商店は特殊仕訳帳として現金出納帳・当座預金出納帳・仕入帳・売上帳を用いている。次の取引を仕入帳と普通仕訳帳に記入し、総勘定元帳に転記しなさい。また、補助簿である買掛金元帳と支払手形記入帳にも記入しなさい。

- i 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
- ii 仕入帳は、月末に締め切るものとする。
- iii 普通仕訳帳の小書きは省略する。
- iv 仕入帳に記入済みの取引も転記すること。
- v 総勘定元帳と買掛金元帳も記入は、日付と金額を示せばよい。

取引

／月／7日 岐阜商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。  
 B 品 700個 @ ¥290  
 C 品 450〃 〃 〃 800

／9日 岐阜商店から／7日に仕入れた商品について、次のとおり返品した。なお、この代金は買掛金から差し引くことにした。  
 C 品 10個 @ ¥800

24日 山梨商店に対する買掛金 ¥246,000を約束手形#30（支払期日 3月24日 支払場所 西銀行本店）を振り出して支払った。

26日 山梨商店から次の商品を仕入れ、代金のうち ¥70,000 は小切手を振り出して支払い、残額は掛けとした。  
 D 品 550個 @ ¥320

**3** 次の各問いに答えなさい。

(1) 支店会計が独立している大分商店（個人企業 決算年/回 12月31日）における下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 支店勘定残高と本店勘定残高の一致額
- b. 本支店合併後の当期純利益

資料

i 12月30日における元帳勘定残高（一部）

	本店	支店
受取手数料	¥ 40,000	———
仕入	479,000	¥253,000
広告料	32,000	10,000
支店	86,000 (借方)	———
本店	———	72,000 (貸方)

ii 12月31日における本支店間の取引

- ① 本店は、支店の手数料 ¥30,000 を現金で受け取った。支店は、その報告を受けた。
- ② 本店は、広告料 ¥10,000（うち支店負担分 ¥3,000）を現金で支払った。支店は、その報告を受けた。
- ③ 本店は、支店が12月29日に送付していた商品 ¥14,000（原価）を受け取った。

[本支店合併後の損益計算書]

損益計算書

大分商店 令和〇年/月/日から令和〇年/12月31日まで（単位：円）

費用	金額	収益	金額
期首商品棚卸高	70,000	売上高	963,000
仕入高	( )	期末商品棚卸高	( )
売上総利益	( )		( )
	( )		( )
給料	167,000	売上総利益	( )
減価償却費	11,000	受取手数料	( )
広告料	( )		( )
当期純利益	( )		( )
	( )		( )

iii 決算整理事項（一部）

期末商品棚卸高 本店 ¥52,000（資料ii③の商品も含まれている）  
 支店 ¥17,000

(2) 愛知商店では伝票制を採用し、仕入・売上の各取引については、代金決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法で起票している。よって、

- a. 6月/5日の略式伝票を集計したさいの仕訳集計表の(ア)と(イ)に入る金額を計算しなさい。ただし、下記の取引について、必要な伝票に記入したうえで計算すること。
- b. 下記の仕訳集計表から、総勘定元帳に転記後の当座預金勘定の残高を計算しなさい。ただし、6月/4日までの当座預金勘定の残高は ¥852,000 (借方) であった。

取 引

6月/5日 一宮商店へ商品 ¥560,000 を売り渡し、代金のうち ¥360,000 は同店振り出しの約束手形で受け取り、残額は掛けとした。

入金伝票	
売掛金	295,000
受取手数料	36,000
当座預金	187,000
( )	( )

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
当座預金	150,000	受取手形	150,000
支払手形	270,000	当座預金	270,000
当座預金	341,000	売掛金	341,000
買掛金	55,000	前払金	55,000
雑費	9,000	当座預金	9,000
( )	( )	( )	( )

出金伝票	
買掛金	270,000
買掛金	198,000
消耗品費	45,000
( )	( )

売上传票	
半田商店	680,000
東海商店(返品)	35,000
東海商店	492,000
( )	( )

仕入伝票	
豊田商店	310,000
小牧商店	268,000
岡崎商店(値引)	52,000
瀬戸商店	160,000

仕訳集計表  
令和〇年6月/5日

借方	平	勘定科目	平	貸方
		現金		
		当座預金		
		受取手形		
		売掛金		(ア)
		前払金		
		支払手形		
		買掛金		
		売上		
		受取手数料		
		仕入		
		消耗品費		
		雑費		
(イ)				(イ)

(3) 九州商店(個人企業)の下記の資料によって、次の金額を求めなさい。

- a. 売上原価
- b. 期首の売掛金

資 料

i 売掛金および商品

	(期首)	(期末)
売掛金	¥ <input type="text"/>	¥410,000
商品	580,000	620,000

- ii 期間中の売上高 ¥3,470,000 (掛け ¥2,530,000 現金 ¥940,000)
- iii 期間中の仕入高 ¥2,100,000 (掛け ¥1,380,000 現金 ¥720,000)
- iv 売掛金回収高 ¥2,400,000 (現金 ¥1,790,000 約束手形 ¥610,000)
- v 売掛金貸し倒れ高 ¥ 60,000

- (4) 次の取引における有価証券売却益または有価証券売却損の金額を求めなさい。また、有価証券売却益の場合は売却益、有価証券売却損の場合は売却損を○で囲みなさい。

取 引

8月 /日 売買を目的として博多商事株式会社の株式1,000株を1株につき ¥700 で買い入れ、買入手数料 ¥5,000 とともに小切手を振り出して支払った。

9月10日 博多商事株式会社の株式1,000株のうち400株を1株につき ¥800 で売却し、代金は当店の当座預金口座に振り込まれた。

総勘定元帳		
有 価 証 券		6
8/1 当座預金	705,000	9/10 ( ) ( )

- 4 静岡商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と決算整理事項は、次のとおりであった。よって、精算表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現 金	¥ 142,500	当 座 預 金	¥ 490,000	受 取 手 形	¥ 700,000
売 掛 金	800,000	貸 倒 引 当 金	9,500	有 価 証 券	765,000
繰 越 商 品	620,000	建 物	2,400,000	建物減価償却累計額	720,000
備 品	1,800,000	備品減価償却累計額	450,000	土 地	1,950,000
支 払 手 形	973,000	買 掛 金	1,030,000	借 入 金	600,000
資 本 金	4,700,000	売 上	8,600,000	受 取 地 代	192,000
仕 入	6,270,000	給 料 料	720,000	支 払 家 賃	354,000
保 険 料	198,000	消 耗 品 費	42,000	雑 費	18,000
支 払 利 息	5,000				

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥685,000
- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 減価償却高 建物：定額法による。ただし、残存価額は零(0) 耐用年数は30年とする。  
備品：定率法による。ただし、償却率は25%とする。
- d. 有価証券評価高 有価証券は、売買目的で保有している次の株式であり、時価によって評価する。  
富士商事株式会社 300株 時価 1株 ¥2,650
- e. 消耗品未使用高 未使用分 ¥8,000 を消耗品勘定により繰り延べる。
- f. 保険料前払高 保険料のうち ¥156,000 は、本年4月/日からの1年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- g. 地代前受高 前受高 ¥24,000 は翌期分のため次期に繰り延べる。
- h. 利息未払高 未払高 ¥1,000 は当期分のため見越し計上する。

第94回 簿記実務検定 2級 **商業簿記** [解答用紙]

<b>1</b>	借	方	貸	方
	a			
	b			
	c			
	d			
	e			
	f			
	g			

<b>1</b> 得点		<b>2</b> 得点		<b>3</b> 得点		<b>4</b> 得点		総得点	
----------------	--	----------------	--	----------------	--	----------------	--	-----	--

試 験 場 校	受 験 番 号

2

仕 入 帳

2

令和○年	勘定科目	摘 要	元 子	買掛金	諸 口
		前ページから		1,298,000	853,000
/ 14	現 金	山梨商店	現金		100,000
	買 掛 金		掛け	194,000	
		A 品 600個 @ ¥490			

普通仕訳帳

2

令和○年	摘 要	元 子	借 方	貸 方
	前ページから		2,190,000	2,190,000

総勘定元帳

現金		1	当座預金		2
1/1 前期繰越	350,000		1/1 前期繰越	573,000	
支払手形		15	買掛金		16
	1/6	253,000		1/1 前期繰越	800,000
仕入		27			

買掛金元帳

岐阜商店		1	山梨商店		2
1/11	390,000	1/1 前月繰越	390,000	1/1 前月繰越	246,000
		5	180,000		

支払手形記入帳

令和 ○年	摘要	金額	手形 種類	手形 番号	受取人	振出人	振出日		満期日 (支払期日)	支払場所	てん末		
							月	日			月	日	摘要
1/6	仕入れ	253,000	約手	29	飛驒商店	当店	1/6	3/6		西銀行本店			

3

(1) a ¥  b ¥

(2) a ア ¥  イ ¥   
b ¥

(3) a ¥  b ¥

(4)  有価証券（売却益・売却損） ¥

※（売却益・売却損）のいずれかを○で囲むこと

**2**  
得点

**3**  
得点

4

精 算 表  
令和〇年/2月3/日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	142,500							
当座預金	490,000							
受取手形	700,000							
売掛金	800,000							
貸倒引当金		9,500						
有価証券	765,000							
繰越商品	620,000							
建物	2,400,000							
建物減価償却累計額		720,000						
備品	1,800,000							
備品減価償却累計額		450,000						
土地	1,950,000							
支払手形		973,000						
買掛金		1,030,000						
借入金		600,000						
資本金		4,700,000						
売上		8,600,000						
受取地代		192,000						
仕入	6,270,000							
給料	720,000							
支払家賃	354,000							
保険料	198,000							
消耗品費	42,000							
雑費	18,000							
支払利息	5,000							
	17,274,500	17,274,500						
貸倒引当金繰入								
減価償却費								
有価証券評価( )								
消耗品								
前払保険料								
( )地代								
( )利息								
当期純( )								

4  
得点